

Ⅱ アンケート自由記述（抜粋）

アンケートの最後に、次世代育成支援に関する意見等について自由に記述していただいたところ、数多くの御意見が寄せられた。その中の一部を抜粋し、以下に掲載。（表現等については、ほぼ原文のまま掲載。）

○母親や乳幼児の健康の確保、増進関係（医療・母子保健体制の充実）

- ・不妊治療にお金がかかりすぎます。治療して子どもをさずかりたいと思う人は沢山います。でも、お金がかかりすぎるために治療を受けられない人もいます。助成金を増やして欲しいです。もしくは、健康保険が使えるようになって欲しいです。（40歳・女性）
- ・子育ての支援は確かに必要だと思いますが、少子化を防ぐためには、産みたくても産めない、不妊に悩む人も周囲にたくさんいます。治療には多くの費用もかかります。そちらの支援はかなり遅れていると感じます。（42歳・女性）
- ・小児医療だけでなく、周産期医療（産婦人科含む）にも力を入れなければ、子どもを産みたい人は増えないと思います。産科・小児科の医師も、何かしら対策をしなければ「なりたい」と思う人は増えないと思うし…難問ですが、ここから変えないとどうにもこうにも。（32歳・女性）
- ・今日、子どもの数は減りつつあります。その原因の一つとして、医療の現場においての産科ドクターが不足していることも知られていますが、近い将来の医療対策に重点を置き、皆（政治家含めて）が真剣に取り組んで、もっと明るい未来を築いていくべきではないでしょうか？子どもたちのためにも……是非そうしてもらいたい、切実に願います。今現在、子育てしながらも不安を感じるばかりです。今の子どもたちに、明るい未来はやってくるのでしょうか？親自身が不安に感じているなら、子どもたちはもっと強く不安をいただいているはずです。（49歳・女性）
- ・私たちの住む地域では、小児科医の高齢等もあるし、市立病院の診察が平日の午前中だけだったり、なかなか病院を選べないし、信頼できる先生と会えず、不安である。市立病院の夜間外来へ39℃の熱、よく肺炎となることもあり、子どもがぐったりしていたので診察へつれていったら、当番の医師に「子どもは39℃の熱はよく出すし…熱のせいでないのは当然やる！」と怒られました。なんとかお願いして肺の音だけは診てもらいました。翌日、小児科で気管支炎と肺炎と言われました。あの時の悔しさを忘れられません。（43歳・女性）
- ・夜間の小児科外来に不満があります。居住地には、対応している病院がありません。もし何かあった時は、熊本市内まで車で行く必要があると聞きました。以前、住んでいた所ではすぐ近くにあったのですが…。（33歳・女性）
- ・熊本市内の小児医療、出産等は非常に恵まれていると思います。今の状況をキープできるよう、行政からのヘルプもよろしくお願いします。（35歳・女性）
- ・医療補助の期間を中学校入学前に変更して欲しい。妊婦検診費用、出産費用の負

担をもっと軽くして欲しい。夜間小児救急の病院が少ないように思います。待ち時間が長く悪化する時もありますので増やして欲しい。あるいは、医師1人で夜間診療されているので医師の数も増やして速やかに診察して欲しい。(33歳・女性)

- ・子どもの予防接種（有料分）の費用が病院によって様々な金額設定なのが、不思議に感じます。(41歳・女性)
- ・現在子どもの医療費助成があり、助かっていますが、無料だと、安易に休日や夜間に受診する親が多いように思えます。毎回少量でも良いので自己負担してもらい、小児科医師育成や当直医の手当てにあてたほうが、今後のためには良いのではと思います。(41歳・女性)
- ・双胎児は同時に費用がかかるので大変です。特に医療費は乳児でも費用がかかり我慢させて大きくなり反省していました。平等にして欲しかった。(41歳・女性)
- ・夜間、診察してくれる病院（小児科）が地域医療センターしかなく、宇城市からはとても遠過ぎます。宇土・宇城内に1つぐらいあってもいいのではないのでしょうか。(37歳・女性)
- ・妊婦さんに対する制度をつくって欲しいです！例えば、「妊婦検診」を無料にするなど。ほとんどの家庭は食費のやり繰り、他にも少なからず苦勞していると思います。その中で、新しく産まれてくる赤ちゃんを安心して産めるような制度をつくっていただければ、なにも心配なく元気な赤ちゃんを産めると思います。(20歳・女性)

○子育て支援サービス体制関係（相談支援、保育サービス、経済的支援、子どもの育ち等）

- ・公的相談機関や電話は身近な感じがしないし、気軽な気持ちで相談しにくい。ミルクメーカーが行っている育児相談のように利用頻度の高い場所での相談や測定や行事案内等をしていただければ、もっと現在行っている事柄も身近に感じるような気がします。また県が行っている事柄にも目が止まるのでは、と思うのです。(30歳・女性)
- ・人それぞれ育児で悩みを持っていると思うので、もっと相談しやすい環境をつくって欲しいです。(22歳・女性)
- ・シングルで子どもを育てていますが、助成金の手続きの仕方を聞きたいです。(24歳・女性)
- ・昨年、突然の病で主人を亡くしました。子ども3人をかかえ不安でいっぱいです。先の見えない生活を日々送っております。この不安な気持ちを聞いていただける所などがあればと思っております。身内には、特に話しにくいことなので。(38歳・女性)
- ・生活をとりにくく環境が年々厳しくなり、借金をせずに生計を立てていくのに精一

杯ですが、子どもたちの成長は楽しみです。親は社会のストレスを抱え込み、それが子育てのストレスに変わっていくことが一番良くない心配な事です。「相談する」ことで安心して生活できるきめ細やかなセーフティーネットの構築と、そのことを1人でも多くの人に知ってもらえる広報をお願いします。(54歳・女性)

- 子どもを保育園に預けているんですが、2人目を考えようと思っても、パートだと産休がとりにくく仕事をやめてしまうと、保育園も辞めなければなりません。2人目をすぐに保育園に預けるのも嫌だし、せっかく楽しんで通っているのに保育園に行けなくなる子どももかわいそうで。考えると、2人目をつくることができません。産後で仕事にすぐにつくことができなくても、今通っている子どもは保育園に通えるようにして下さい。少子化と言っていますが、産める環境をつくっていないのが問題で、このような調査をする時間があるなら、早く良い環境にして下さい。(30歳・女性)
- 私立幼稚園に通わせていますが、公立、市立の幼稚園が少なすぎると思います。幼稚園の良い所、保育園の良い所を組み合わせた施設ができるといいなと思います。保育園(認可)が全く受け入れてくれない状態をどうにかして欲しいです。働きたい!という意思はあるのに、子どもを受け入れてくれる保育園がありませんでした…。もっと子どもを安心して預けられる所があったらいいのにとと思います。(30歳・女性)
- 保育園の休日オープンが必要だと思います。土・日が必ず仕事が休みとは限りません。入園できる園の受け入れ体制も改善するべきだと思いますし、迎えに行く時間まで平日でも間にあわないため、認可保育園にも市内の園にも預けることができません。医療費の統一も必要では?熊本市内と玉名市の格差があります。(31歳・女性)
- 熊本市内の認可保育所の数を増やして、安心して仕事をできるようにしていただけるといいと思います。(31歳・女性)
- 認定子ども園などの推進を早急に!!(37歳・男性)
- 無認可保育園にも、もっと助成金を出して欲しい。子どもは平等ではないのか?(42歳・女性)
- 少子化と言いますが、子どもを産みたい人は沢山います。安心して可能になるよう、産科、小児科、保育所などの設備を充実させて下さい。私達ではどうすることもできません。我が子は皆、認可外保育園に預けています。理由は、認可より保育内容や取り組み、無理な対応でも受け入れて下さり、頑張っておられます。しかし、子どもに対する助成金など、全く比べ物にならないほど無いに等しいです。同じ子どもたちに差別なく助成して欲しいものです。安全で充実した保育が今まで以上にできるように、認可外にもいろんな対応をお願いします。(35歳・女性)
- 子育てをする上で、児童手当などが安すぎます。1ヶ月に5,000円で4ヶ月後にまとめて2万円の支給。月に5,000円もらっても1回分のミルク代にしかなりません。少子化をうったえてますが、子どもに対する支給額をもっと増やすなど十

分な保障があれば、だれでも子どもをつくるんです。産んでも生活ができないので子どもはつくれません。保育料も高すぎます。もう少し安くできなんでしょうか？生活に大きな負担がかかっています。(30歳・女性)

- ・育児休業中の手当をもう少し増やして欲しい（休業中でも保険料や税金は同じであるため）。せめて1年間、半額は支給して欲しい。3人目、4人目…とお祝い金があるとうれしい。(33歳・女性)
- ・うちは、子ども3人の5人家族です。共働きで働いていますが、保育料が高く、3人の子どもを養う事は経済的に大変です。もっと、国から子育て支援をしていただいたら、助かります。(33歳・女性)
- ・子どもを幼稚園に入れるまでの3年間は、母親は父親の協力がなければなかなか1人になる時間がありません。例えば、美容院に行きたくても子どもがいて行けないとか。なので、一時的に預かってくれるような施設があるといいです。あと、現在は社会自体がとてもピリピリした感じで、周りの方たちもなかなか協力してくれない気がします。子育てを経験したはずの中高年齢層の女性達など、意外と不親切なものには驚きました。なので、子どもたちが少々騒いでも親が少しでもリラックスできるようなレストランやカフェなどがあるとこちらは気分転換できて助かります。(33歳・女性)
- ・私の場合は、近くに実家があるため、毎日の育児に疲れた時やイライラが募った時の「はけ口」があり、とても助かっています。もともと、子どもが好きな私でしたが、やはり24時間ずっと子どもの世話をしていると、時々、イライラが募るので、独身のときは他人事だった虐待も、今は「私もひとつ間違えば危ない」と感じる場合があります。実家など、頼れる場所があるからまだいいですが、実家などが遠いお母さん方は、さぞ御苦労されていると思います。そのような方々が「リフレッシュ目的」でも気軽に利用できる一時保育、一時預かりの場をぜひ増やして欲しいです。それが虐待防止、少子化対策にもつながると思います。(33歳・女性)
- ・女性が働きやすい環境づくりより、女性が無理して働かず子育てができる社会づくりを私は望みます。(28歳・女性)
- ・以前、保育園の一時預かりなどを利用したかったが、なかなか入れず困りました。一時預かりがもっと利用しやすくなると、子育ても自分がリフレッシュでき、新たな気持ちで子どもと向き合えるので、子育てに息詰った時に助かると思います。平日は1人で子育てしているようで（主人の帰りが遅いため）、逃げ場みたいなものがあるといいな～と思います。(32歳・女性)
- ・市によっては、子育てに対してとても充実している。それにとっても助けられました。だけど、一番お金のかかる小学生からある年齢に達すると援助が少なくなると、共働きになるしかない、思春期になっていく子どものそばにいてあげたいと思う時にいてあげられなくなるのではないかと不安でしょうがない。子どもの可能性、夢を親の勝手に潰したくない。だったら働くしかない。子どものそばにいてあげられる時間がなくなるのではないかと不安です。(32歳・女性)

- ・多くのお母さん達が、育児のために仕事を辞め、再就職しようとしてもできない状況にあると聞きます。育児真っ最中の親が、仕事と子育てを両立できる社会環境をつくっていただきたいです。具体的には、雇用対策、ファミリーサポートセンター等の体制づくり、学童保育や放課後の教室開放などの充実等々。(36歳・女性)
- ・産休と育休中が子育てをする上で、お金が凄くかかったのもう少し生活がしやすくなるようにして欲しい。母乳が出ない場合など、ミルク代になってしまう。またおむつ代も1万円ぐらいかかるので生活が厳しくなる。おむつ代やミルク代が、もう少し安くなると嬉しい。(24歳・女性)
- ・国からの児童手当があるのは助かるのですが、県からも、もっと“ひまわりカード”以外に子育て支援としてお金の補助のようなものが少しでも出ると助かります。(児童手当のように4カ月に1回、熊本県から別に!)やはり子育てには、お金が現実問題としてかかると思います!!(29歳・女性)
- ・保育料が高いので、何のために共働きするのかわからなくなります。また、一時保育可能な園がいつも空きがなく、子どもを保育してもらえない環境が悪いので、安心して働けない。児童手当も少ない。少子化になるのも当然だ。(30歳・女性)
- ・何より、保育料が高すぎます。所得に応じてというのは分かりますが、生活への負担が大き過ぎます。少子化になる大きな要因の一つだと思います。(29歳・男性)
- ・子どもが3人以上になると、軽自動車ではむずかしく普通車が必要です。でも、家計に余裕がなかったりする家庭が多いのでは。子どもが多い家庭への車関係の支援をお願いします。(32歳・女性)
- ・家計における教育費の割合が大きく子どもを産みたくても産めません。0歳～高校生までの学費、給食費の無料化、大学の学費の軽減など、思い切った政策を求めます。子どもの数も教育も、国の未来にとって最も重要なので、早急に動いて下さい。教育費の負担が減ると母親の家事や、しつけの時間が増え、子どもの安全教育の向上につながります。(36歳・女性)
- ・子育てで不安なのは、今よりも高校・大学のことです。出産費用の負担を減らすより、学校にかかる費用に対する安心感が得られれば、出生率は上がるのでは?(27歳・女性)
- ・保育園に通わせているときの保育料は本当に負担を感じた。2人通わせて4万いくらか家計から出費するとパートの半分は保育料でなくなる。3人目は欲しくても家計を考えると出産できない。また、出産後に面接に行っても子どもが小さい事を理由に断られる事も多い。土日休みの保育園がほとんどなので土日休みの仕事しかできず就労の実態に応じていないと感じる。(37歳・女性)
- ・現在支給されている児童手当1人5,000円ですが、乳児の場合1カ月のミルク代にも足りない金額です。もっと増額して欲しいです。(43歳・女性)
- ・小学生より、中学・高校とお金があるので、医療費や教育費等を考えて欲しい。児童手当も、高校まで手当てをしてもらおうととても助かる。(38歳・女性)

- ・保育園の数、保育料等、子どもを産み育てるのにはとても難しい環境にあると思います。（一般的な家庭でも）もう少し、利用しやすく、お金のかからないようになれば…と思います。中学生になり、塾を利用するのがあたりまえのような雰囲気ですが、やはりここにもお金がかかり過ぎると思います。（43歳・女性）
- ・児童手当が小6までではなくて義務教育の終わる中3までになると、3人子育てをしているうちは助かります。（33歳・女性）
- ・双子の子どもの教育・医療費の助成があったらいいのにな～と思います。（39歳・女性）
- ・子どもにかかる費用が大きくなるにつれてかかる。保育園の時は保育料が高い。何のために仕事をしているのか…と思った時もあった。大きくなるにつれてお金もかかり大変です。国から援助していただかないと兄弟が欲しくてもつくれません。（36歳・女性）
- ・両親共働きです。あて名本人（園児）は、毎日のように延長保育利用。その姉（小学生）は、学童利用なのですが、4地区合同の学童で利用者も多いようです。学校ごとに、学童をつくっていただくと、移動もなく、よいと思うのですが…。うちからは少し遠いので、毎日の仕事帰りの迎えが大変です。将来、下の子（あて名本人）も利用すると思うので、少しでも改良されたら…と思います。料金（保育料：学童）も高めなので、利用も考え中です。留守番ができる年齢なら良いのですが…困りました。（37歳・女性）
- ・学童保育の終わる時間が早すぎる。親の仕事が終わる前に閉まってしまうので非常に困る。（31歳・女性）
- ・学童について、児童の数が増えた事で、新1年生から優先に通えなくなる恐れがあります。4年生からは部活も始まり、日々の保育はあまりさしつかえがなくなるとしても、夏休み等、長期休みは一日中ひとりきりで家においておくことにはとても不安があります。下の弟のためにも、学童と一緒にいけることを強く望みます。増設をぜひともお考えいただきたく宜しく申し上げます。安心して仕事ができ、子育てできる環境を与えて下さい。国全体として、そういうことにこそお金を使用していただきたい。個人にばらまくのではなく、まとまったお金をそういうことに活用していただきたいものです。（35歳・女性）
- ・私は平日 PM3:00 まで働いています。小学1年生の子どもがいますが、夏休みなど長期の休みは学童で預かって欲しいと思うのですが、それはダメだと言われました。もっと、母親が安心して働ける環境になって欲しいと思います。（34歳・女性）
- ・仕事の都合上、子どもの休みに合わせることができないため、学童保育を各町村につくって欲しい。子どもを置いて仕事に行くと事故や怪我などにあわないか心配なため。（年齢不明・女性）

○教育環境の整備関係（幼児教育・学校教育の充実、家庭や地域の教育力の向上等）

- ・住んでいる地域に公立の幼稚園がなく、仕方なく私立に入園させたのですが、保育料も高額な上、預り保育代も1回1,000円（夏、冬、春休み）、通常でも2時～5時で1回500円と他の園にくらべ、かなりの高額です。いろんな地域に公立の幼稚園を増やして欲しいし、公立も私立同様、時間延長できるなど、格差をなくして欲しいです。私立はとにかく保育料が高額すぎます！（44歳・女性）
- ・他県では、出生時、1歳時、2歳時にその年齢にあった（絵本）をプレゼントするサービスがあります。（九州では宮崎県など…）熊本県でもぜひそういうサービスを行って欲しいと思います。（32歳・女性）
- ・学力やしつけよりも大切な、「心」が置いてきぼりにされているように思います。熊本は水や緑の美しい、とても素晴らしい所です。子どもたちも大人もそんな熊本に負けないくらい素適であって欲しい。（34歳・女性）
- ・娘は中1です。学力不足に悩んで塾に入れましたが、あまり効果がありません。学校の先生に相談しようにも、先生方は忙しくなかなかできません。学力不足の子どものアフターフォローの対策やアドバイスをしていただきたいです。むずかしい年頃で、親の言う事を全然聞かないので。（45歳・女性）
- ・中学生になると、その日その日の感情がバラバラで、あまり積極的に様子を聞くと嫌がられ、どう接していいかわからず、見守る感じでいると本人がさびしがるみたいです。この時期ならではの対処法とかあれば、具体的に知りたいです。本人目線で友達などの事を言うと許さなくなるし、友達感覚の親では、主導権がぶれちゃうので難しいと思うし、親がフラフラしてはいけないと思うのですが…。（40歳・女性）
- ・小学校へ行くまであと1年。熊本市内の小学校に行くか、迷いがあり市外へ引越す事も考えている。熊本市内の小学校は荒れていると聞く。小学校の活動とかも見る機会とかあるのでしょうか。長い6年間を送らせるのにいい学校を選んであげたい。（31歳・女性）
- ・教育者である先生の質の向上を望みます。モンスターペアレンツばかりではないので自信と勇気をもって子どもたちに恥ずかしくない先生がいることを望みます。（37歳・女性）
- ・中学校の環境の差が激しいと思います。授業をまともに受けることができない学校があります。もう少し考えて欲しいです。（39歳・女性）
- ・高校の受験料や授業料はもっと安くならないのでしょうか？（39歳・女性）
- ・3人の子育て中です。子どもに恵まれて幸せだと思いますが、すごく教育費にお金がかかります。若い方にとっても「3人産んだ方がいいよ…」とは言えない状況です。せめて、義務教育の間だけでも、無料になるとありがたいのですが…。特に中学校の副読本や、学用品の出費が痛いです。「これって、義務教育なの？」と言いたくなります。（45歳・女性）

- ・公園など外で遊ぶ子どもたちをほとんどとっていいほど、見なくなりましたよね。“隣は何をする人ぞ!?”というように、ご近所の付き合いも少なくなってさみしいですね。子どもたちには元気よく、たくさんの友だちと遊んで、たくさんの事をそこで学んで欲しいですね。携帯電話、テレビ、ゲームなどからではなく。私たち親にとっても考えさせられることばかりです。アドバイス、ご指導、よろしくお願い致します。みんなが幸せな毎日を送れますように。(52歳・女性)
- ・二世帯、三世帯同居が困難な時代で子育てするのは非常に厳しく、人間関係も粗雑な状況で、人らしく大人になれないような気がします。社会全体で子育て、人間育てをしていく時代になったことに、暖かみを感じられるか不安です。(53歳・女性)

○県民子育て応援団関係（子育てサークル支援、子育て支援団体育成等）

- ・仕事を理由に子育てをせず、祖父母にまかせっきり。保育所に育ててもらっているような人を支援することばかりで、子育てを本当に一生懸命している母親への支援は「無」に等しいことに不公平を感じます。精神的な支援が必要とするのは子育てだけをしている母親たちのほうだと思いますが…。(40歳・女性)
- ・現在公民館の事業をよく利用させて貰っていますが、小学生までの対象が多いので対象年齢を上げて欲しいです。午前中に子育てママが参加できるような講座を行って欲しいです。(41歳・女性)
- ・以前、住んでいた石川県では、18歳以下の子どもが3人以上いる家庭に、「プレミアムパスポート」というカードが配られました。子育て支援事業として、賛同する企業を募り、そのカードを提示すればさまざまな特典を受けられるという仕組みです。企業により特典内容は違い、5%オフや10%オフのところもあれば、スタンプ3倍や5倍というお店、例えば引越業者であれば基本料金2割引というところもあります。企業にとってもイメージアップにつながり、はじまってまだ3年目くらいですが、年々、登録する会社が増えているようです。県や市町村だけの支援ですと限りがでてくると思うのですが、企業や会社を巻き込んだ支援ですので相互にとっても利点があり、利用する私たちもとても助かっていました。熊本でもぜひお考え下さい。(40歳・女性)
- ・子どもたちが安全にいらしていただけるよう、サポートシステムをつくって欲しい。(41歳・女性)
- ・景気悪化する中、子育てはなかなか厳しいものがあります。しかし、子どもの笑顔で励まされ頑張ろう、と夫婦で話し合うこともあります。我が町は子育てには優しい町ですが、県全体で子どもが希望を持って住めるまちづくりを進めて力を入れていただきたいです。(43歳・女性)

○子どもの自立支援関係（要保護児童への支援、子育て意識の向上等）

- ・児童虐待が多いので、出来るだけ早く子どもを助けてあげて欲しいです。(28歳・女性)
- ・わが家は去年、ひとり親になりましたが、児童手当や医療費などありがたい制度を受けておりますが、実際家計は火の車です。熊本県の女性の賃金も安く、もう少し手当が多いと本当に助かります。(39歳・女性)
- ・母子家庭の場合、就職がとても困難だとよく身にしみています。私たちのような存在は冷たい目で見られるのでしかないのでしょうか。(20歳・女性)
- ・シングルマザーでもすぐ働けて保育園に入園でき、病児保育の充実や職場に、急に子どもが病気の時などに仕事を休めるような制度を整えて欲しいです。どうしても迷惑がかかってしまい、すぐに働けないので。(32歳・女性)
- ・現在、夫と別居中で離婚する形になると思うが、6歳・5歳・3歳と3人の子どもを、これから育てていかなければならないので、母子家庭でも、精神的にも経済的にも安心できるような子育て支援を希望します。(43歳・女性)
- ・ひとり親家庭ですが、国保が高いです。もう少し配慮して欲しいと思う。(33歳・女性)
- ・母子家庭です。すべてにおいて生活しにくくなっています。仕事を優先すると子どもたちだけで待っている時間が多く寂しい思いをさせています。親と同居していますが負担も大きいです。先の事を考えるとかなり不安となり苦しい毎日です。(41歳・女性)
- ・収入に関係なく、父子手当があつていいと思う。男女平等なのに不公平だとも思う。男1人で子どもを育てる身になって考えて欲しい。県も一緒に考えてみては。(39歳・男性)
- ・障がい児がいる家庭は、一般の家庭に比べて過去、現在、未来について悩みや不安を多く抱えている。また、子どもにかかる時間が多く自分個人の事や世間一般の事は後回し。その日その日で精一杯。また、色々な活動(子どもの)に参加したくても、なかなか受け入れ先がなく、ますます外へ出る機会が減ってしまう。次世代を支援する時には、一緒に障がい児の支援も忘れないで欲しい。本人やその家族だけで抱えこむ問題ではないと思う。広い目で子ども全体の事を考えて欲しい。(45歳・女性)
- ・発達障がいを持つ子どもの母親です。学校、地域の中で生活することが現実としては困難ですが、皆が理解し、サポートして下さる方々が増えて下さり、義務教育終了後も公立の高校に進める整備等を、国・県として受け皿づくりを希望しています。(39歳・女性)
- ・発達障がい(アスペルガー)の子どもがいますが、これといった支援もない中で、子育てに不安を持っています。このような環境で子どもをたくさん産むのはとても考えられません。(38歳・女性)

- ・障がいのある子ども2人と介護の必要な母と同居しています。子どもの世話、母の世話、それぞれ頼める機関はありますが、両方一度に頼めるシステムはなく、身内を頼るしかありません。子どもと高齢者で分けるのではなく、その家族にどのようなサービスが必要かという視点で、検討していただけたらと思います。(43歳・女性)
- ・最近新聞などで、よく父親の育児参加が取り上げられており、とても良い事だと感じております。ただ一方で、これまでは母親が育児をするのが当然で父親が外で働くという考えの元、お母さんたちが辛い思いをしながら頑張るすぎたんだろうと思います。私も子を持つまで、子育てがいかに大変か分かりませんでした。2～3人連れでお買い物をしているお母さんを見かけても何も思いませんでしたが、今ならその苦勞が分かります。若い男女やお父さん方にも子育てに興味を持っていただけるような啓発ポスターなどができたら少しずつでも社会全体が変わっていくのではないのでしょうか？いいアイデア、期待しています。(34歳・女性)
- ・転勤で熊本にきたのですが、市役所などで転入手続きする際に、子育てサークルや育児に関する情報を全く教えてもらえませんでした(今まで住んでいた所では、教えてもらっていたので)。慣れない土地で情報収集するのは大変なので(しかも小さな子連れ)、もっとなんとかしてもらいたい。(30歳・女性)
- ・児童の権利に関する条約、熊本県子ども輝き条例、くまもと家庭教育10か条。を聞いたことがありません。もっとアピールして欲しいです。(28歳・男性)
- ・もう少し早くからいろんな情報を欲しかった。うちよりもっと、今、いろんな情報とか知りたい方がもっといると思いますので、学校とかで、いろんな事をもっと流していったほうが、きっと助かる人がいると思いますよ！！うちはもう子育てが終わってきますので、ほかの人に回してあげた方がいいです。(43歳・女性)
- ・親になりきっていない親(大人)が多過ぎるように感じる。子どもを育てる上で、本当に大変なのはほんの4～5年。土台をしっかり築いておけば、あとはゆとりを持ち楽しく子育てができる。結局、子どもが思春期になった時、良くも悪くも親に振りかかってくる。結婚＝子育て学校(教室)入学、のように親になるための勉強をするべきだと思う。幼稚園と保育園の違いすらわかっていない親が沢山いる。お金に関しては、地域格差を感じる。平等であって欲しいと強く願います。また、働いている母親＝子育て支援、というイメージがあるが、子どものために働かず子育てに専念している母親もたくさんいる。それに対する子育て支援、家庭教育支援ももっと積極的に取り組んで欲しい。(36歳・女性)
- ・転勤、転入して来た時に、もう少し情報が欲しい。資料など北九州、鹿児島では充実したものがあって、すごく助かった。熊本ではまとめた冊子がない。(49歳・女性)

○仕事と家庭の両立の推進関係（多様な働き方の実現、男性の育児参加等）

- ・いつもご苦勞様です。子育ての環境を充実させる事は大事なのですが、子どもが

病気などをした時に面倒を見てくれる施設もあると便利だと思うのですが、やっぱり親が看病したほうが、子どもには一番の薬だと思います。そのためには、職場の方の理解が必要になると思います。一人ひとりが子育てに対する理解があれば、泣く子どもを預け、仕事に行かなければならないお母さんも減るのでは？仕事優先の方もいらっしゃるので、家庭の事情は様々だと思うのですが…。子育てをされる方のモラルも考えなければならぬと思います。(31歳・女性)

- ・結婚して11年、ずっと職に就かずにいます。今現在、主人1人の収入でやっていけるという幸せには恵まれています。私は特に絶対に絶対に働きたい、という強い意志は持っていません。『働ければいいな』ぐらいです。私は幼い頃より、両親とも忙しく働いていて、とてもさみしかったので、生活が苦しくても子どもと過ごしていたいのです。しかし、周りの人から働かないの？とか、このように就労に関するアンケートを答えていると、とても怠け者の人のように感じる時があります。このようなことを考えず、それぞれの人にあった選択が自由に認められる世の中になればいいのに、と思います。(34歳・女性)
- ・出産を機に仕事を辞めなくてよいなら、キャリアを活かし社会の生産性や質の向上につながると思いますが…。女性は職を辞めるので、新人をまた数年間かけて教育していかなければならない。そのために、女性の社会的立場が弱くなるのでは？(44歳・女性)
- ・子どもはとっても可愛く素晴らしいものです。私も本心を言えば、あと1～2人欲しいです。しかし、経済的、仕事を考えるとその決断を今一足踏みとどまってしまう。どうか、女性の社会的在り方。子どもを持って仕事をしているだけで、1歩引いてしまう自分がいます。子どもを持った女性が堂々と居れる社会をつくらせて下さい。おねがいします。(29歳・女性)
- ・なぜ、働く母親ばかりに行政は協力しようとするのですか？出産を機に、仕事を辞めなくても大丈夫な人だけが、給料も保障され、保育園でも子どもの保育に対して税金がかなり投入されていて、小学校のPTA活動や送迎では専業主婦があてにされ、地域に専業主婦がいるからこそ働く母親たちが成り立っていることに、その人たちは気付いていないのでしょうか。なので、子どもたちのモラル低下みたいなことが言われている昨今、我が子とはいえ、育児に専念している母親の無償の奉仕を評価してくれてもいいのではないのでしょうか？(36歳・女性)
- ・現在の経済状況もあるとは思いますが、子育てに専念し子どもも手がかからなくなり、私も社会復帰をしたくパート事務をさがしていますが、ブランクが長すぎるとのこと等でなかなか決まりません。講座もですが、職場体験などもあって欲しいと思います。(34歳・女性)
- ・子どもが風邪などひいた時、理解のある職場なら仕事しやすいと思いますが、冷たい目でみられる職場だと、働きにくいと思います。もう少し、子どもをかかえた女性が働きやすい職場を増やして欲しいと思います。この不景気のため、保育園へ預けたくてもお金がないため家でみるしかなく、働きたくても働けない状態ですので景気が良くなって欲しい毎日です。(34歳・女性)

- ・子どもはもう1人欲しいんですが…。現実には働きながらの子育ては大変です。また、給料も下がることがあり、将来が不安でムリかなと思っています。(31歳・女性)
- ・出産を理由に仕事を退職させられたり、小さな子どもがいるとそれを聞いたら仕事に差しつかえる等を言われて、働くことができない人が周りにも多数いる。子育てしながら仕事ができる社会になるように県政に希望します。(38歳・女性)
- ・子育て支援活動に対し、まだまだ個人企業においては様々な取り組みに前向きではなく、なかなか休業が取りにくい状況である。前例がないので取れないなどの声が聞かれる。もっと、子育てに支援できる企業が増えてくるとありがたいですね。どうか、住みやすく、子育てがしやすい県であるように願います。(39歳・女性)
- ・やはり面接を受けてもなかなか採用してもらえません。仕事の事を考え、保育園に預けていますが、仕事が決まらないことへの焦りを感じます。もう少し、子どもがいても働ける環境になればよいと思います。(35歳・女性)
- ・子育てしながら働いていますが、職場の理解がなかなか得られないことで苦勞しています。育児休業をとり復帰する時に、戻る場所がなかったり、短時間勤務を希望したくてもできなかったり。子育て支援に関してどんなに対策をたてても、末端までいきわたっていないように思います。(32歳・女性)
- ・私の職場は子育てしている人が多く病気の際の急な欠勤にも対応してくれます。しかし、そうでない職場も多いはず。もっと多くの企業などが、子育てを応援して欲しいと思います。ただ、欠勤した場合の給料は引かれますが、休園しても保育料は変わりません。もともと、保育料は負担に感じているので、もう少し考慮していただきたいと思います。少子高齢化に伴い、労働力と将来を担う子どもは両方とも必要となってくるので、子育て女性をもっと、後押ししていくべきだと思います。(29歳・女性)
- ・就労したくても仕事は少なく、子どもがいると伝えると、病気の時はどうするか、日祝は働けないなどデメリットも多く敬遠される。フルタイムで働けば残業で時間を仕事にとられる。女性が子どもを産む、就労するには多くの壁がありすぎる。大企業しかない企業内の保育所(病院や女性を多く雇用するところ)の設置ができないものか。保育士、介護福祉士の免許を持っていても今の状況がなかなか変わらないのは私自身の問題ではなく、社会や企業にも多くの問題があると言うことだけ受け取ってもらいたい。また、認可保育所の設置を望みたい。私の友人は育休が終わり結局退職。女性が安心して働ける子育てできる対策を早急に求めたい。(32歳・女性)
- ・子育てについて、色々な取り組みがなされてきているが、やはり働く女性にとってはまだまだ厳しい環境であることに変わりはない。女性目線での取り組みをもっと考えて欲しいです。(35歳・女性)
- ・子育てに負担を感じる母親は意外と多いようです。父親の協力はもちろん必要ですが、実際には少ないように思います。私も心(気持ち)に余裕がなく、仕事と

子育ての両立にイライラも募り、ついつい子どもを叱り、後で後悔しています。社会や職場でもっと子育て中の世代への理解と配慮があればと思います。条例や制度をつくっても、効果はどれくらいあるのでしょうか？（36歳・女性）

- ・働きながら安心して子育てできる環境は、まだまだ整っていないと思います。祖母がいるおかげで続けられますが、周りに手助けする人がいない人は、大変苦しい状況の中、仕事と家庭の両立を行っていると思います。（年齢不明・女性）
- ・子育てをしながら仕事をする母親に対する支援をもっともっと充実させて欲しい。（35歳・女性）
- ・働く母親に対する職場や世間の目が冷たすぎる！仕方がないことですが、子どもが病気の際は休みづらく、居場所がなくなってしまうので…。（25歳・女性）
- ・母親が仕事をしはじめると、父親にも家事を手伝ってもらわないと家の中が回らない。しかし、そもそも家事は女の仕事と考えている人は、絶対に自分から動いてはくれない…という事に気付きました。よく「上手にお願いしましょう」とありますが、毎回毎回そのような事を言うのも疲れてしまいます。十分な手当てと協力さえ得られれば、女性は子どもを産む事に前向きになれるのではないのでしょうか。（38歳・女性）
- ・仕事と、育児の両立は難しく、昔はそういうものはなかった、などと言われ、短時間就労を取得している人が悪い立場になり、仕事をやめるしかない雰囲気になり退職しました。子どもが病気をして休むと、体が弱いなど、子どものことを悪く言う上司もいて、精神的苦痛も多かったです。今は、パートで勤務しています。子どもと過ごす時間も多くなり幸せです。母親が安心して、仕事ができる職場が増えるといいです。（32歳・女性）
- ・記入者である私は女性です。仕事と育児を両立させる中で、夫と両親という家族の助けは不可欠です。誰もが実感できる政策の実現は一朝一夕にはできません。1人でも多くの女性が、仕事か出産（育児）という選択に悩むことなく。出産（育児）できる熊本をお願いいたします。（34歳・女性）
- ・私は仕事をしていますが、とても女性が子育てと仕事を両立できる社会ではないと感じています。家庭での男性の自立が必要不可欠だと思います。せめて自分の身の回りの事は自分でしていただきたい。（32歳・女性）
- ・自分なりに子どもとの時間を最優先させるために、仕事等であきらめている部分は沢山あるのは事実です。また、その逆（仕事のため子どもとの時間の多くを犠牲にしている）のお母さん、お父さんも多いと思います。ライフスタイルの多様化で“これが正解”というのではないとはいえ、“子育てにあてるゆとりを親に与えられる社会づくり”は、まだまだ足りないと感じます。（37歳・女性）
- ・私は3人子どもがいますが、2人目までフルタイムで正社員として働いていました。しかし、夫の仕事が忙しくなり、とても仕事と子育ての両立が難しくなり、私が子育てをすることになりました。その時、仕事と子育てで、他の仕事と子育てを両立させている方々の情報を得ることができませんでした。もっと、簡単に

子育てと仕事を両立させている方々の情報やノウハウを知れたら良かったと思いました。家族は5人なのですが、インフルエンザの予防接種の金額が負担に感じます。全員受けて3万円は負担です。また、小さな子どもたちを抱え、医療機関を選ぶのは大変なのです。(34歳・女性)

- 日々の子育てと仕事の両立で悩んでいます。仕事で帰りが遅くなり子どもが泣きながら「ママがいなくてさみしかった」と言われ本当に仕事をする意味があるのだろうか? etc. しかし、経済的にも子どもにも教育費が必要です。本当に子育てが難しい世の中だと思います。(37歳・女性)
- 実家も遠く主人は仕事が忙しいので、毎日の子育てで一杯いっぱいになってしまふ。もっと子どもと向き合ったほうが良いと頭では分かっているけど時間に追われて、なかなかできない。父親ももっと育児に関わって欲しいと思う。(35歳・女性)
- 核家族だと、旦那は仕事で忙しく、ほとんど家事・育児に参加できません。負担は母親にかかるので、父親ももっと家事・育児に関われるような社会になればいいなと思います。(31歳・女性)

○安心安全な子育て環境づくり関係（生活環境の整備、安心安全なまちづくり等）

- 住んでいる町に子どもが少なく、ましてや公園等が車で10分位行かないとなくて、かなり不便。身近な所に公園が欲しい。お店も遠く、買い物に不便です。(38歳・女性)
- 私は玉名市の市営団地に住んでいますが、周りに子どもたちが安心して遊べる場所がなく、いつも団地内の駐車場で窮屈に遊んでいます。少しでも子どもたちや親が安心して遊べる場所があればと常々思っています。(34歳・女性)
- 学校だけでなくそれに伴う部活等の費用はかなりかかります。外灯がなかったり登下校の道路整備がなっていないため、送迎が自分だけではやっていけないので、家族がいてくれて助かっています。学校の環境がもっと整って欲しい。(38歳・女性)
- 自然がたくさんあり、子育てには良い町だと思います。ただ、道の整備が中途半端で安心して出歩くことができません。自転車やベビーカーでも気軽に通れる道づくりをお願いしたいですね。(33歳・女性)
- 私は大阪出身ですが、バスに乗車の際、幼児2人まで運賃は無料でした。熊本は1人までなのでなんとかして欲しいです。自転車に乗ることが多いのですが、歩道、自転車道の整備をお願いしたいです。また、子ども2人を前後に乗せる3人乗りは禁止のようですが、車に乗らない私としては、手段が1つなので、特別に認められるパスポートのようなものが申請できたら、大変助かります。(38歳・女性)
- 昔は、小さい頃塾を知らなかったですが、今の子どもたちは、ほとんどの子ども

が塾へ通っています。お金もかかりますが、学力低下を親は気にします。子どもたちが学校（塾や遊び）から帰ってくる時は、冬は薄暗くなっている時もあり、街灯が（歩道も）少なく、必ず親（私）が迎えに行っています。不審者にも2人あっていますので、とても心配です。（39歳・女性）

○その他

- ・ 厳しい財政状況の中、将来、子どもに重い税負担がかかってしまうのではないかと、不安を感じています。今後、国・県の借金が減るよう取り組んで欲しいと思います。最大の子育て支援は、経済対策、産業育成だと思います。県内企業の競争力向上に向けた取り組み（規制緩和、企業誘致など）が、県民の所得向上につながり、子育てしやすい環境がつけられてくるのではないかと思います。（29歳・女性）
- ・ 子どもも、子どもを持つ親も将来に希望をもてる世の中や、制度を整えないと少子化は止まらない。子育てには精神的にも肉体的にも経済的にも負担はかかるので、自分たちはそんな苦労はしたくないという人をせめられない。子育てにかかる費用は「ゼロ」があたりまえだと思う。（保育、学校は無料、当然）でなければDINKSで、次世代育成に何の貢献もしていない人たちの年金を若い世代が払うことへの不公平をどう是正するのか。核家族時代で、昔より精神的な負担が特に増えていると思うので、「子育て」という視点だけでの解決を目指しても無理がある。「暮らし方」（親と同居するか否か、共働きするか否かなど）（36歳・女性）
- ・ 子どもは欲しいが、“産めない”（金銭的理由）人が多いように感じます。だからといって、児童手当を多くする、子育て支援策を充実させるというような対策では、的外れのように思います。子どもを安心して産み育てるためには、人生に対する将来の希望、安心が欲しいです。雇用に対する希望・安心感、社会保障に対する安心感など、暮らしやすい国を希望します。（34歳・女性）
- ・ 子どもを授かるまでは、こんなにも自分の子どもが可愛くて幸せな思いを受けるなんて思いませんでした。反面、制限されるもの失ってしまうものが多いのも改めて気付かされました。しかし、人生の諸先輩方が「子どもは多ければ多いほど良い」と言うのを信じてもっと授かりたいです。（35歳・女性）
- ・ このアンケートを通して育児を見直すきっかけになりました。育児は本当に大変でイライラすることも多々ありますが、子どもたちの無邪気な笑顔やどんなにおこっても、甘えてくる子どもをみると、心が癒されます。育児は親育てとよくいったものだな…とつくづく思います。（32歳・女性）
- ・ 理想とする子育てと、現実の子育てにはかなりのギャップがある。時間とお金がかかり心配事も増える。子どもは可愛いがまた次に生まれ変わったら「子どもはいらぬ」と思う自分がある。「子どもを産んで、育ててよかった」と思えるようになるのは、まだまだ時間がかかるかもしれない。子どもを産まずに、自分のことをメインに生活してもそれはそれで寂しいのは理解できる。常に人間は「ないものねだり」なのかもしれない。いろいろな事件が起こる現代世界。もっと自由に

のびのびと子どもを育て遊ばせることができたなら少子化はストップできるのだろうか？（46歳・女性）

- 現在の子育ては、経済的、身体的、精神的負担が重いように感じる。また、女性においては、出産を機に仕事を辞めざるをえない等、安心して子どもを産み育てられる環境ではないのではないかと。今までの子育てを通じて、就学までの時期は特に朝と夕方をどのように時間のやりくりを行うかが難しい。3歳までは育児休暇を取得できたが4～6歳までの小学校へ入るまでの時期まで、同制度があればいいなと感じていた。財政的な支援があることはもちろんのことであるが、ソフト面で少しでも子どもと一緒にいれるようなことができればと考えています。少子化は一つの原因ではなく、様々な要素が絡んでいることから少しずつでも改善できることから手をつけてもらえればと思います。（34歳・男性）
- 福祉行政に国や県が力を入れて、充実させるのはありがたいことだと思うが、あまりに頼りすぎて、何の覚悟もなく出産・育児をしている人が最近多いように思う。出産費用の30万も準備ができないのに、子どもを産む人、乳幼児医療はただだから夜間や休日の時間外診療を平気でする人、働かないで児童扶養手当をもらいながら次々子どもを産む人、福祉を充実させるのも大切だが、権利だけを主張するのではなく、国民として義務を果たしてもらいたいと切に思う。唯一、ここ最近の社会状況では、働きたくても働くところがないという現実があるので難しいところだ（48歳・女性）

